

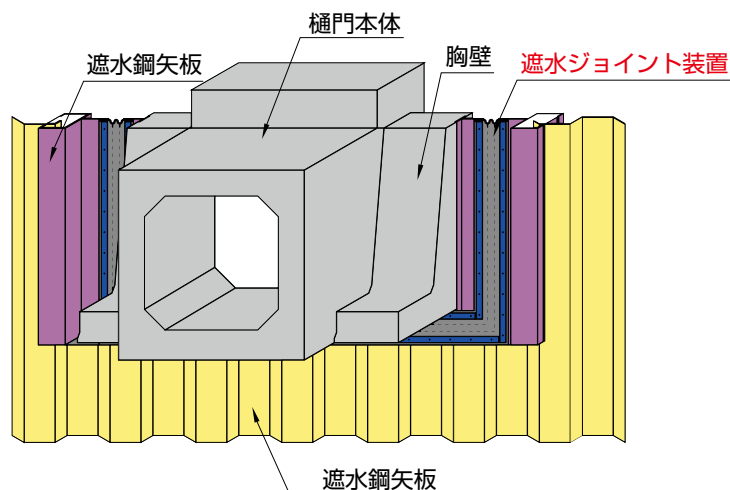
# 可撓性 遮水ジョイント装置

## はじめに

従来の「杭基礎構造樋門」には、周辺地盤の沈下に伴う樋門直下の空洞化や遮水壁のクラック発生等が原因で堤防の機能が低下するという問題がありました。こうした問題を解決する目的の「柔構造樋門」は樋門本体の沈下を許容する構造である為、逆に遮水鋼矢板に作用する周面摩擦等で発生する上下変位を吸収する必要があります。

「可撓性遮水ジョイント装置」は、樋門本体と樋門直下の遮水鋼矢板の接続にゴムジョイントを使用することで、遮水鋼矢板の上下変位を吸収でき応力を伝達しない製品です。これは可撓性止水鋼矢板をより進化させたものです。

## 可撓性遮水ジョイント装置の構造



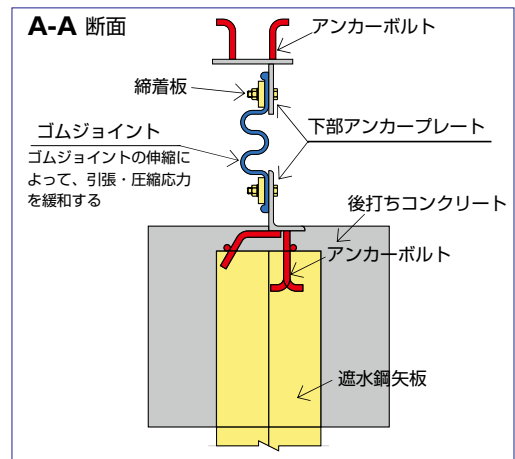
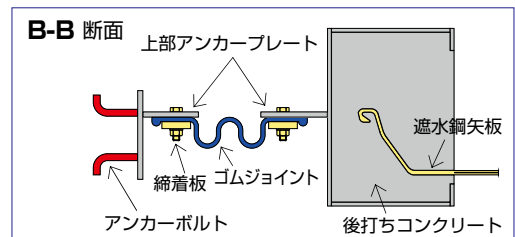
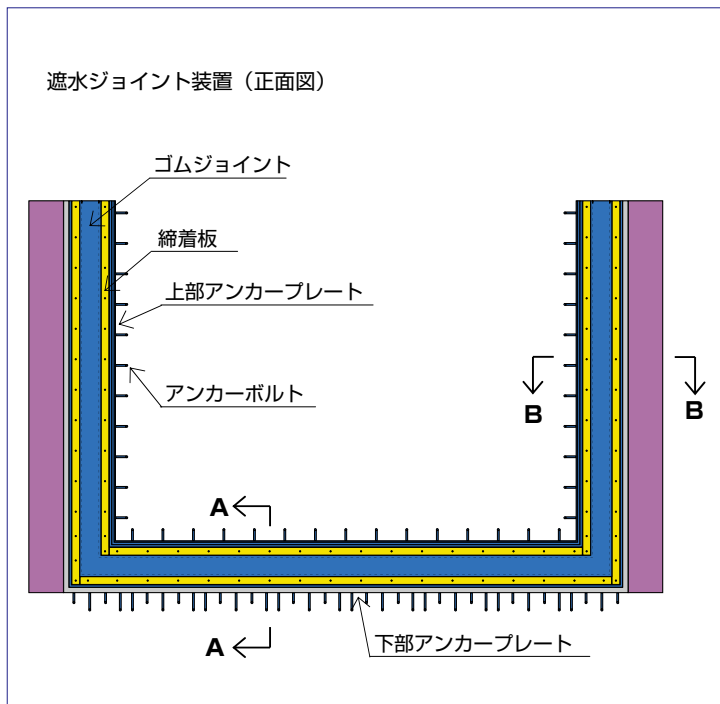
## 型格表

型格		100 型	200 型
変位吸収性能	沈下量	100 mm	200 mm
	伸び量	100 mm	200 mm
	縮み量	100 mm	200 mm

## 特長

1. ゴムジョイントを介して樋門と樋門直下の遮水鋼矢板・連壁鋼矢板を連結することで、周辺地盤の応力を遮断する柔構造樋門に最適な遮水装置です。
2. 遮水ジョイントは工場組立後、現場にて鋼矢板に固定するだけでよいため、施工性に優れています。
3. 使用しているゴム材は耐候性に優れたクロロプレン系合成ゴムであり、長期耐久性を要求する構造物に適しています。

## 断面図



## 想定設置例

1. 軟弱地盤で遮水鋼矢板が長くなり、大きな周面摩擦力が発生する場合
2. 地盤の押込みによる摩擦力や、遮水鋼矢板の先端部が比較的良質な地盤となり樋門を支持する場合
3. 河川改修などで自立の護岸上に樋門が設置される場合
4. 近くに民家があり、騒音・振動などでバイブロハンマー等の施工が出来ない場合
5. 地盤が良く、従来の可撓矢板では断面が大きく、打ち込みが出来ない場合

## 施工例



## FTK 東京ファブリック工業株式会社

〒163-0429 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル29階

本店 TEL 03-5339-0875 FAX 03-3348-0695

URL : <https://www.tokyo-fabric.co.jp/> E-mail : [ftk@tokyo-fabric.co.jp](mailto:ftk@tokyo-fabric.co.jp)



支店	札幌 TEL 011-241-7558	盛岡 TEL 019-622-7375	仙台 TEL 022-227-3145	宇都宮 TEL 028-689-8825
	新潟 TEL 025-243-1571	東京 TEL 03-3340-2820	横浜 TEL 045-222-0794	名古屋 TEL 052-204-1511
	金沢 TEL 076-264-9511	大阪 TEL 06-6397-7991	高松 TEL 087-833-8842	広島 TEL 082-224-3764
	福岡 TEL 092-441-2811	鹿児島 TEL 099-253-0201		